

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目		学科・コース名		エアポートサービス科		グランドハンドリングコース		開講時期	1年次	通年
授業科目名	人間学 I			担当教員名	A科常勤教員・就職キャリア支援センター・学生支援課 (1~5,9~13,15回) (6~8回) (14回)							
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修					
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	学生一人一人が教育理念を理解し、目標に向かって大切な時間を過ごしていくために心掛けて欲しい事項、および自分のキャリアデザインを実現するために必要な自己分析や企業研究等の方法、考え方等を講義、グループディスカッション、講演会、奉仕活動などを通して学ぶ。											
到達目標 (150文字程度)	本校の教育理念「技術者たる前に良き人間たれ」を十分理解し、規則正しい生活習慣を身につけ、ルールを遵守する。 自分のキャリアデザインを描く。自分の強みを発見し、発信することができる。 仕事の価値観をつかみキャリアデザインの実現に生かす。											
評価方法	定期試験				その他の評価方法							
	筆記試験	レポート	課題レポート	取り組み姿勢								
			80%	20%								
教員実務経験	—											
学生へのメッセージ (150文字程度)	人間学を通じ、自分の夢を実現させ幸せになるためには具体的にどのようにすれば良いのか考えて行動する習慣を身に付けてください。また、自分のキャリアデザインを実現するために自分と会社についてよく知り、自分にとって的確な会社選びができるよう積極的に取り組んでください。											
教科書	書名	人間学				書名						
	書名	社会人基礎力講座				書名						
参考書	書名					書名						
	書名					書名						

授業計画 (各回ごとの項目と内容について) ※実施時期は適宜設定		
回=90分	項目	内容
1	教育理念	(1)教育理念、ディプロマ・ポリシー(2)学園・学校の歩み
2		
3	勉学開始に当たり	(1)キャリア・デザインとキャリア形成(2)基礎学力と生活習慣(3)英語の必要性(4)学内ルールの遵守(5)犯してはならないこと、注意したいこと
4	人間性と人生	(1)人生の出発点、(2)自己実現の欲求、(3)コミュニケーションによって開く未来
5		
6※	キャリアデザイン	ガイダンス1
7※		ガイダンス2
8※		ガイダンス3
9		(1)就職活動を成功させるために (2)自己分析 (3)職種・業界研究 (4)履歴書・業界研究 (5)企業採用試験
10		
11※	グループディスカッション	グループディスカッション
12※		
13※	講演会など	外部講師等による講演または学科教員による講義
14※	コンプライアンス	コンプライアンス
15※	奉仕作業	清掃活動など

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース		開講時期	1年次	通年
授業科目名	ビジネスマナー I		担当教員名	赤塚 かおり			
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	社会人としての一般常識を身につけ、行動化できるよう挨拶や言葉遣い等マナーの基本を座学・実習を通じて学ぶ。 より良い第一印象に繋がる自己表現力の基礎を習得する。						
到達目標 (150文字程度)	なぜマナーが必要なのか。必要性、メリットを考える。 社会人として必要な行動、言葉遣い、礼儀等について座学で理解を深める。 採用試験・就業後の実務において、よりよい第一印象を発揮できる自己表現力を学び、行動化する。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢	小テスト			
		40%	20%	40%			
教員実務経験	エアラインにおける採用面接官・キャリアカウンセリング経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	マナーの原点は、相手を思いやり、より良い関係を創り出すことです。社会に出てから、お客様と一緒に働く上司・仲間から愛される力を身につけましょう。就職対策にも、実務でも、プライベートでも役立つマナーを学び、心配りと共にアクティブラーニングで行動化しましょう。						
教科書	書名	マナー&プロトコルの基礎知識		書名			
	書名			書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)			
回=90分	項目	内容	
1	社会人に必要なマナーの基本	講義概要・修学目標説明、自己紹介(動画撮影)	
2		好印象を与えるコミュニケーション I ①座学・実習(第一印象の重要性)	
3		自己分析(エゴグラム)・未来像を描く	
4		好印象を与えるコミュニケーション I ②座学・実習(所作)	
5		好印象を与えるコミュニケーション I ③座学・実習(言葉遣い・敬語)	
6		情報収集(ニュース・新聞の読み方)	
7		好印象を与えるコミュニケーション I ④座学・実習(敬語・話し方)	
8		好印象を与えるコミュニケーション I ⑤座学・実習(話し方・聴き方)	
9		①～⑥振り返り 自己PR(動画撮影)	
10		手紙のマナー・ペン習字①(氏名練習)	
11	ビジネスシーンのマナー	ビジネスマナーの必要性・社会人としての心構え・名刺交換	
12		電話応対/ビジネスメール	
13		宛名書き練習	
14	グループワーク	グループディスカッション・合意形成	
15	話し方演習	話の組み立て①スピーチ作成①(自己紹介・自己PR)	
16		話の組み立て②スピーチ演習①(自己紹介・自己PR)	
17	自己分析	自己分析①	
18		面接想定質問	
19		企業研究	
20		エントリーシート・履歴書作成(作文・手書き練習)	
21		自己PR動画撮影	
22	就職活動のマナー	身分証明写真	
23		企業説明会について	
24		オンライン面接対策	
25		好印象を与えるコミュニケーション II ①面接演習(第一印象づくり 入室～自己紹介)	
26	面接演習	好印象を与えるコミュニケーション II ②面接演習(話し方 自己PR)	
27		好印象を与えるコミュニケーション II ③面接演習(言葉遣い 志望動機)	
28		好印象を与えるコミュニケーション II ④面接演習(入室～面接～退室)	
29		好印象を与えるコミュニケーション II ⑤面接演習(総合演習)身だしなみ	
30		好印象を与えるコミュニケーション II ⑥面接演習(総合演習)身だしなみ	

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目				開講時期	1年次 前期
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース				
授業科目名	SPI対策-1		担当教員名	赤塚 かおり			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 就職試験において広く実施されている能力・適性検査対策として、非言語分野を中心にSPI3演習を実施する。 2. SPI演習を通じて、数的能力を中心に、基礎的能力の向上を図り、各種問題に対処する際の考え方を理解する。						
到達目標 (150文字程度)	現行の就職試験で実施されているSPI3の非言語分野における基礎的なレベルの能力の定着を図る。基礎的なレベルの能力の定着を図り、確実な点数取得につなげることを目標とする。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート					
教員実務経験	100%						
教員実務経験	航空会社勤務・就職対策・一般常識講座担当実績						
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職対策としての取り組みにとどまらず、社会人としての一般常識となる基礎能力の向上を図る意識を持って、自主的かつ積極的な取り組みを期待する。						
教科書	書名	文系学生のためのSPI3完全攻略問題集2023年度版		書名	高橋書店		
	書名			書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		項目	内容
回=90分			
1	SPI対策演習		オリエンテーション(本講義全般の内容・構成及び意義・目的の説明)、四則演算
2			整数問題・小数、分数の計算
3			方程式
4			割合・比
5			損益算
6			仕事算
7			濃度算
8			速さ・時間・距離
9			図表の読み取り
10			場合の数、確率
11			割り勘
12			集合
13			年齢算
14			総合演習①
15			総合演習②

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目				開講時期		1年次 後期	
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース						
授業科目名	SPI対策-2		担当教員名	赤塚 かおり					
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修		
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 就職試験において広く実施されている能力・適性検査対策として、言語分野を中心にSPI3演習を実施する。 2. SPI3内容に加え、一般教養・時事問題・国内海外地理の知識を習得する。								
到達目標 (150文字程度)	現行の就職試験で実施されているSPI3の言語分野における基礎的なレベルの能力の定着を図る。また、一般教養・ニュース・地理分野への関心を高め、社会人としての基礎知識習得につなげることを目標とする。								
評価方法	定期試験			その他の評価方法					
	筆記試験	レポート							
教員実務経験	航空会社での人材育成・教育及び人材派遣会社における就業支援の経験。 企業における採用面接、一般教養・秘書検定対策講座の講義実務経験								
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職対策としての取り組みにとどまらず、社会人としての一般常識となる基礎能力の向上を図る意識を持って、自主的かつ積極的な取り組みを期待する。								
教科書	書名	文系学生のためのSPI3完全攻略問題集2023年度版			書名	高橋書店			
	書名				書名				
参考書	書名	ドリル式一般常識問題集2023年度版			書名				
	書名				書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	前期履修確認	確認テスト
2	SPI対策演習	性格適性テスト①
3		言語問題①漢字の読み・四字熟語
4		言語問題②二語関係(類義語・対義語)(CNAドリル)
5		言語問題③語句の用法(CNAドリル)
6		言語問題④長文読解(CNAドリル)
7	一般教養	国内地理①
8		世界地理②
9		時事問題・ニュース
10		社会科学①(社会・科学・環境)
11		ことわざ・慣用句・格言・名言
12		漢字の読み書き
13		四則計算(CNAドリル)
14		社会科学②(生活・情報通信)
15	まとめ	総合演習問題

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目					
学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース	開講時期	1年次 後期			
授業科目名	キャリアプランニング	担当教員名	田中 陽彦・竹田 啓一				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	就職活動の前提となる全国の航空系企業の研究と志望企業選定に関わる指導、ならびに就職選考試験に求められるエントリーシート・履歴書の作成要領、及び面接対策等に関わる包括的な就職指導を行う。						
到達目標 (150文字程度)	就職活動を円滑かつ着実に進める為、全国の各企業の特徴や求められるレベルに応じた自己の改善課題を把握の上、各自の自主的かつ主体的な取り組みを進めることで、志望企業応募の準備を行うことを目標とする。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢				
		50%	50%				
教員実務経験	エアラインの空港実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職は専門学校入学の最大の目的であり、就職選考は人生で最も重要な節目の一つとなることを自覚の上、しっかりとした自らの意志を持って取り組み、就職に向けた着実な準備を行って頂きたい。						
教科書	書名		書名				
	書名		書名				
参考書	書名		書名				
	書名		書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	オリエンテーション	本講義全般の内容・構成及び意義・目的の説明
2	志望企業の研究	全国航空系企業の研究
3	エントリーシートの準備・作成	エントリーシート①:自己分析
4		エントリーシート②:自己PR
5		エントリーシート③:志望動機
6		エントリーシート④:エントリーシート演習
7		エントリーシートまとめ
8	履歴書の準備・作成	履歴書①
9		履歴書②
10		履歴書まとめ
11	面接対策	面接対策①
12		面接対策②
13		面接対策③
14	フォローアップ	上記各課題のフォローアップ
15	まとめ	本講義の総括

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分	一般科目						
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース		開講時期	1年次	通年
授業科目名	英検 I		担当教員名	荒田 修央			
授業形態	講義	授業時数	240	単位数	16	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空業界に求められる資格の一つである英検3級合格以上を目標に学問としての英語を道具としての英語に置き換える。						
到達目標 (150文字程度)	実用英語検定3級合格または同等能力の獲得を目指す。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	小テスト	課題	取り組み姿勢		
	80%		10%	5%	5%		
教員実務経験	企業における通訳や仕様書の翻訳などの実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	いままでの英語学習の概念を少し変えて新しい英語に挑戦する気持ちで頑張ってください。						
教科書	書名	即効! 英文法 基礎力			書名	英検トレーニングゼミ3級 改訂版	
	書名	英検道場J 準2級			書名		
参考書	書名	新訂七版 チャート式 ラーナーズ高校英			書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1		英語による自己紹介、年間目標を英作文
2		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson1 語彙 文法
3		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson1 トレーニング1・2
4		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson1 リスニング
5		Lesson1 総括 復習 小テスト
6		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson2 語彙 文法
7		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson2 トレーニング1・2
8		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson2 リスニング
9		Lesson2 総括 復習 小テスト
10		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson3 語彙 文法
11		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson3 トレーニング1・2
12		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson3 リスニング
13		Lesson3 総括 復習 小テスト
14		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson4 語彙 文法
15		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson4 トレーニング1・2
16		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson4 リスニング
17		Lesson4 総括 復習 小テスト
18		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson5 語彙 文法
19		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson5 トレーニング1・2
20		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson5 リスニング
21		Lesson5 総括 復習 小テスト
22		即効英文法 1現在形 be 動詞 一般動詞
23		人称 疑問文 否定文
24		即効英文法 2 過去形
25		英作文 小テスト
26		ディクテーション&レシテーション
27		電子辞書・英和辞書・和英辞書 の使い方 発音記号について
28		即効英文法 3名詞・代名詞
29		複数形について
30		即効英文法 4疑問文で始まる疑問文

回=90分	項目	内容
31	英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson6 語彙 文法	
32	英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson6 トレーニング1・2	
33	英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson6 リスニング	
34	Lesson6 総括 復習 小テスト	
35	英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson7 語彙 文法	
36	英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson7 トレーニング1・2	
37	英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson7 リスニング	
38	Lesson7 総括 復習 小テスト	
39	英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson8 語彙 文法	
40	英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson8 トレーニング1・2	
41	英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson8 リスニング	
42	Lesson8 総括 復習 小テスト	
43	英検各級2次試験対策	
44	試験作文問題	
45	即効英文法 5 進行形	
46	即効英文法 6 いろいろな文	
47	文法説明コーナー 助動詞	
48	即効英文法 7 助動詞	
49	助動詞小テスト	
50	即効英文法 8 不定詞・動名詞	
51	不定詞分類	
52	英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson9 語彙 文法	
53	英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson9 トレーニング1・2	
54	英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson9 リスニング	
55	Lesson9 総括 復習 小テスト	
56	英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson10 語彙 文法	
57	英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson10 トレーニング1・2	
58	英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson10 リスニング	
59	Lesson10 総括 復習 小テスト	
60	英検総括 トレーニングゼミ 熟語集	
61	後置修飾 形容詞・前置詞・不定詞(形容詞的用法)	
62	後置修飾 現在分詞・過去分詞	
63	後置修飾 接触説	
64	後置修飾 関係代名詞	
65	後置修飾 関係副詞	
66	英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 1 空所補充問題 (1)	
67	英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 2 空所補充問題 (2)	
68	英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 3 空所補充問題 (3)	
69	英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 4 会話文の空所補充問題 (1)	
70	英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 5 会話文の空所補充問題 (2)	
71	即効英文法 9接続詞	
72	即効英文法 10 文型	
73	即効英文法 11 比較	
74	即効英文法 11 比較 最上級 同党比較	
75	現在完了形について	
76	即効英文法 12 現在完了	
77	過去完了 過去完了進行形 現在完了進行形 未来完了 未来完了進行形	
78	英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 6 長文読解(1)	
79	英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 6 長文読解 精読	
80	英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 7 長文読解(2)	
81	英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 7 長文読解 精読	
82	英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 8 長文読解(3)	
83	英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 8 長文読解 精読	
84	英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 9 英作文(1)	
85	英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 10 英作文(2) テスト	
86	英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 10 英作文(2)	
87	英検2次試験対策	
88	英検ディクテーション&シャドーイング	
89	ポキャビルコンテスト	
90	レシテーションコンテスト	

回=90分	項目	内容
91		英英辞典について
92		英語のなぞなぞ
93		英語のレシピ
94		即効英文法 13 受動態
95		即効英文法 14 分詞
96		即効英文法 15いろいろな疑問文・否定文 付加疑問文
97		即効英文法 間接疑問文
98		即効英文法 部分否定・全体否定
99		即効英文法 16 関係代名詞 (復習あり)
100		即効英文法 17 総合問題 ① ②
101		即効英文法 17 総合問題 ③ ④
102		即効英文法 演習問題① ②
103		即効英文法 演習問題③ ④
104		英語ゲーム(scrabble)
105		即効英文法 演習問題⑤ ⑥
106		即効英文法 演習問題 ⑦
107		週刊ST エッセイ 読解
108		エッセイ作成
109		英検 過去問題3級 #1
110		英検 過去問題3級 #2
111		英検 過去問題3級 #3
112		英検 過去問題3級 #4
113		ボキャビルコンテスト
114		英検道場J
115		英検2次試験対策 スピーキングスキル #1
116		英検2次試験対策 スピーキングスキル #2
117		英検2次試験対策 スピーキングスキル #3
118		総合問題 演習 解説 #1
119		総合問題 演習 解説 #2
120		総合問題 演習 解説 #3

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目				開講時期	1年次	集中
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース					
授業科目名	空港サービス入門		担当教員名	エアポートサービス科全常勤教員				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. エアポートサービス科で受講する講義概要(スケジュール・内容)について、各担当教員別に入門編として説明を行う。 2. エアポートサービス科で取得を目指す各資格の概要と必要となる知識等について、説明を行う。 3. 航空会社の実務業務並びに今後の講義の基礎となる航空業務の基礎知識(空港3レター・航空会社2レター・航空基礎用語等)を習得する。							
到達目標 (150文字程度)	2年制であるエアポートサービス科の授業カリキュラム全体の構成と各受講科目の位置づけを理解するとともに、就職先企業に必要な航空専門知識・技量を身につけることの重要性を理解する。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	知識確認テスト	100%				
教員実務経験	エアラインでの実務業務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空系企業への入社に向けて必要となる航空専門知識を身につけることが、就職の成果に直結するとの意識を持ち、就職先企業への入社(早期研修開始)までに最短で1年半との短期間となる実情をふまえ、集中した取り組みを期待します。							
教科書	書名				書名			
	書名				書名			
参考書	書名				書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	イントロダクション	A科全体概要説明・エアポートサービス科担当教員紹介
2	各教員担当科目説明	非常勤教員担当科目概要・人間学・空港業務知識Ⅰ・エアラインビジネス・貿易概論等
3		
4		
5		
6		
7	エアポートサービス・接客・ホスピタリティ・サービス介助・コンピュータ実践等	
8	航空業務の基礎知識	GHコース全体概要・グランドハンドリング業務・グランドハンドリング実習・空港業務知識Ⅲ等
9		
10		
11		
12		
13	空港コード(国内)	
14	空港コード(国際)	
15	航空会社コード	
	航空基礎用語	
15	まとめ	知識確認テスト

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目					
学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース				開講時期	1年次 前期
授業科目名	空港業務知識 I		担当教員名	エアポートサービス科常勤教員			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 航空会社の業務の全体像を理解し、航空会社の各職種(主にキャビンアテンダント・グランドスタッフ・グランドハンドリング・エアカーゴ)に関する基礎的な業務知識の理解に努める。 2. 上記業務に関連する空港業務として、オペレーション・運航(パイロット)・整備の各業務概要を理解し、各業務間の密接な関わりと航空機の運航における各部署協調の重要性を理解する。						
到達目標 (150文字程度)	航空機の運航に関わる業務には各部署業務の専門性の深化と、部署間の協調(チームワーク)が重要となる為、航空会社の業務全体と部署間の関連性をしっかりと理解することが重要である。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢				
	90%		10%				
教員実務経験	エアライン業務全般の実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	専門学校生の就職先となる企業の多くは空港運営を一元管理し、複数職種を担う会社として再編する流れにある為、自らの目指す職種のみにとどまらず、幅広い職種への関心を高めることが肝要である。						
教科書	書名	エアラインオペレーション入門			書名	イカロス出版	
	書名				書名		
参考書	書名				書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	オリエンテーション	本講義全般の内容構成と意義・目的の説明
2	空港業務の職種別解説	グランドスタッフ業務概要
3		
4		グランドハンドリング業務概要
5		
6		エアカーゴ業務概要
7		オペレーション業務概要
8		
9		運航(パイロット)業務概要
10		客室(キャビンアテンダント)業務概要
11		整備業務概要
12		空港業務支援業務概要
13	空港業務全般総括	空港業務における各職種間の関わりと連携の重要性
14		
15	まとめ	本講義のまとめ

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分	専門科目				開講時期	1年次	通年
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース				
授業科目名	国際航空危険物取扱基礎	担当教員名	工藤 千佳				
授業形態	講義	授業時数	90	単位数	6	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	IATA危険物規則書の構成・内容の学習 危険物を安全に輸送するための規則を修得する						
到達目標 (150文字程度)	学習を通じてIATA DIPLOMA危険物基礎コース資格取得を目指す						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢				
	90%		10%				
教員実務経験	エアライン会社における旅客ハンドリング、貨物ハンドリングの実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	DIPLOMA危険物基礎コース資格の取得であることを心掛けて勉強して下さい						
教科書	書名	ICAO-IATA危険物規則書の抜粋		書名			
	書名			書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	航空危険物概要	航空危険物に関わる基礎を学ぶ科目である本講義についての進め方、勉強の進め方の説明
2		危険物規則書の構成、目次、危険物規則書の目的、一般理念、規則書的使用方法について
3	第1章 適用	危険物の定義、危険物規則書の根拠、適用範囲について
4		荷送人、運航者の責任について 教育訓練要件について
5	第2章 制限	航空輸送が禁止されている危険物、隠れて危険物について
6		微量危険物、少量危険物について
7		政府および運航者例外規定について
8	第3章 分類	第1分類から第9分類までの定義のについて
9		各分類、区分の包装等級について
10		Cargo IMP Codeについて
11	第4章 識別	危険物リストについて
12		危険物リストを参照し各ITEMの理解
13		単位について
14	復習	危険物リストについて確認を実施
15		正式輸送品目名、UN/ID番号、包装等級、正味重量について確認
16	第6章 容器の規格	国連規格容器について
17		容器の型式コード、材質コードについて
18		国連規格容器のマークについて
19	復習	国連規格容器の写真をしながら容器のマークについて確認
20	第5章 包装	一般包装要件について
21		オーバーパックについて
22		一つの外装容器に収納される異なる危険物について
23	復習	一つの外装容器に収納される異なる危険物について(練習問題)
24	第7章 マーキング/ラベリング	マーキングとラベリングの違いについて
25		危険性ラベルの仕様規格、取り扱いラベルについて
26	復習	マーキングとラベリングについて(練習問題)
27	第8章 書類の作成	危険物申告書、航空貨物運送状の作成方法について
28	復習	危険物申告書、航空貨物運送状について(練習問題)
29	第9章 取り扱い	隔離を要する危険物、搭載、保管について
30	リチウム電池	リチウム電池の種類、SECTION分け、包装について

回=90分	項目	内容
31	復習	リチウムの基礎(練習問題)
32	復習	リチウムの応用(練習問題)
33	第10章	放射性物質の概要及び一般知識
34		10.2 放射性物質の輸制限について
35		10.3 放射性物質の分類、定義
36		10.3 用語について
37		10.4 識別(放射性物質の正式輸送品目名)
38		10.5 包装(容器の基準や輸送に係る包装に関する説明)
39		10.5-6 輸送指数、放射線によるカテゴリーの決定 容器規格および容器試験について
40		10.7 マーキングおよびラベリングの必要性和内容の理解
41		10.8 危険物申告書および航空貨物運送状の記入方法の理解
42		10.9 取扱いおよび保管についての理解
43	復習	A型輸送物(練習問題)
44	復習	B型輸送物(練習問題)
45	まとめ	

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 専門科目

学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース		開講時期	1年次	通年
授業科目名	国際航空貨物規則		担当教員名	早川 阿佐依			
授業形態	講義	授業時数	90	単位数	6	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空会社、グランド・ハンドリング、IATA貨物代理店会社等の航空貨物事業に従事する者に必要な国際航空貨物取扱いに関する基礎的知識を学習し、航空貨物業界にて多岐に渡る業務に対応できる人材の育成を目的とする。						
到達目標 (150文字程度)	IATA認定国際航空貨物取扱士(DIPLOMA・ディプロマ基礎)資格取得						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢				
	70%		30%				
教員実務経験	企業における貨物取扱の実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	専門用語が多く、当初は戸惑うことが有ると思いますが、わからない点等は何時でも質問してください。また、DIPLOMA本試験の内容は多岐に渡りますが、ポイントを把握すればパスすることは十分可能です。不明な点等があれば、どの様な事でも質問してください。						
教科書	書名	IATA-CARGO INTRODUCTORY COURSE TEXTBOOK (SETを含む)					
	書名	IATA-CARGO INDTRODUCTORY COURSE TACT TRAINING EDITION (SETを含む)					
参考書	書名	航空貨物Q&A 100問100答			書名	エアカーゴマニュアル	
	書名	タリフ基礎コース			書名	国際航空貨物マニュアル	

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	教育目的、教育スケジュール、各教科書(TACT概要)の説明及びDIPLOMA資格試験の詳細の説明	各テキストの内容を確認、説明し、前期の授業内容と授業目的を学生に対し展開する。また、目標であるIATAディプロマの試験詳細を説明し、その重要性を周知する。
2-3	航空貨物業界を取り巻く各団体とその役割	航空貨物業界を取巻く各団体、IATAやICAO等の役割とその活動範囲を各テキストを用いて授業を展開し、それらの組織構造と重要性をひも解いていく。
4-5	航空貨物受託業者の構成	航空貨物の取扱に際し、中間媒体となるIATA航空貨物代理店の業務内容とその事業形態について、書類作成等の実業務を交えながら生徒に展開する。
6-8	航空貨物起点による世界地図の理解と国際間時差や飛行時間の計算、国名、地名、空港名等の簡略化と正式名称の理解	IATA CARGO INTRODUCTRY COUSE TEXTBOOKSETを使用し、各名称のCODING,DECODINGを学習する。また、GMTを基準とした時間軸とそれに付随する都市間飛行時間の計算方法を体系的に学生に展開する。
9-11	TEXT利用による航空貨物搭載可能便のスケジュール検索とそれに付随するCODING、DECODINGの理解	IATA CARGO INTRODUCTRY COUSE TEXTBOOK SETを使用し、そのガイドラインを学生に説明および利用方法を展開する。また、検索項目に対する様々な手法を確認し、状況にあったガイド索引を可能にする。
12-13	航空機の構造と搭載規定、及び搭載使用器具(ULD)の体系的理解	各航空機の概要とその搭載制限や規定を各教科書を使用し、授業を展開する。また、搭載使用器具(ULD)の種別・特色やその重量規定を各状況に応じた取扱いについて実業務を交えて学生に説明する。
14	空港内貨物取扱施設の概要とそれに付随する他施設の理解	航空貨物の取扱を実施する各施設の概要とそれを取り巻く環境の説明。及び、各国の施設・設備等検索について各テキストを使用し説明。
15-16	航空貨物の受託とその取扱基準	各ステージにおける航空貨物の受託に際し、必要項目の確認とその注意点を説明する。また、注意を必要とする貨物品目内容について各テキストを参照し、説明を実施する。
17	航空貨物の予約方法とその注意点	IATA航空貨物代理店の視点から、どの様なプロセスで航空貨物の実態化が発生するのか説明し、学生の理解を向上させる。同様に、特殊貨物の予約と受託の関係について具体例を挙げながら、授業展開を実施。
18	航空貨物産業の電子化、迅速化とその推進	航空貨物産業界全体としてのEDI化の推進とその平準化の手段、方法論を学生に展開する。また、その迅速化によって、得られるプロフィットを説明する。
19-20	航空貨物運賃に使用される重量の算出とその単位規定	航空貨物運賃の大本となる貨物重量の算出の仕方と各検尺単位における処理の仕方を学習する。それに付随する、各単位の揃え方(切上げ、切捨て、四捨五入等)を検証する。

回=90分	項目	内容
21-24	航空貨物運賃の算出とその種別	航空運賃を算出する方法を各種テキストおよびテキスト内TACT RATE表を用いてその方法を理解する。また、特定貨物の設定料金を該当するルールから見つけ出し、その適応方法と該当料金種別のなかから最適となる設定方法を学習する。
25	各国通貨の検索方法とその最小単位の取り扱い方	各国で使用されている通貨をIATA CARGO INTRODUCTORY CAUSE 内 TACT RULE抜粋部分から検索し、其々の通貨単位と最小単位の揃え方(切上げ、切捨て、四捨五入等)を学習する。
26-28	OTHER CHARGES (その他の手数料)の種類とその計算方法	頻出するOTHER CHARGES (その他の手数料)①VALUATION CHARGE ②COLLECT CHARGE ③DISBURSEMENT FEE の内容とその適応ルール、計算方法を理解する。
29-30	航空運送状 (Airwaybill)の意義と記載方法	国際航空貨物の運送に密接に関わる航空貨物運送状の記載内容を理解し、各条件にあうための文号を理解し、該当書類の作成ができる知識を学習する。
31	DIPLOMA資格試験の詳細の説明とその対策	DIPLOMA本試験における問題傾向の解説とその内容の概略説明、及び、試験問題の一部例を挙げ、解答を考察する。
32-33	航空貨物請求重量の計算方法の再確認と演習問題の実施	前期に学習した重量計算について演習問題を行い再度学習する。また、弱点の認識とその克服を念頭に学習する。
34	航空貨物業界の各事業体の詳細説明と重要用語の確認	航空貨物産業界に存在する各事業団体の名称とその役割、組織編成内容を再度学習し、試験にて出題された内容を学習する。
35-36	IATA CARGO INTRODUCTORY COURSE TEXTBOOK TACT抜粋部分の索引方法の再確認	該当テキスト内のTACT抜粋部分の各重要ページに必要とされた付箋添付の有無を漏れなく確認する。また、各パートの索引方法や、CODING,DECODINGの方法等前期学習分を再度学習する。
37	GMTを基準とした各国時間、都市間時差の計算や飛行時間の算出、及び航空機とその周辺に関する基本知識の再確認	前期学習分のGMTを基軸とした各都市の現地時間の算出、2都市間の時差や飛行時間の計算方法を再度確認学習する。また、航空機とその周辺に関する様々な基本知識を再度確認する。
38-39	航空貨物運賃の仕組みと構造の再確認とその適応方法	TACT RATEに準じたRATING CLASSの理解を深め、その適応方法とRATING CLASSの優先順位の決定方法を再度学習する。
40	通貨単位や請求重量の単位の揃え方とTEXT内該当ページの確認	運賃や請求重量の計算において端数の処理方法(切上げ、切捨て、四捨五入等)を再度学習し、弱点や盲点を認識、それに対する対応力を強化する。
41	OTHER CHARGES (その他の手数料)の再確認	前期にて学習した各手数料を再度学習し、弱点を克服する。
42-45	IATA DIPLOMA本試験対策と弱点克服	過去の実際問題を演習し、傾向と自己の弱点を把握する。また、弱点に対する対応を考察し、理解度を深める。

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分	専門科目				開講時期	1年次	通年
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース				
授業科目名	カーゴハンドリング業務		担当教員名	竹田 啓一			
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空貨物におけるグランドハンドリング部門での貨物取扱方法やハンドリング方法の基礎知識の習得						
到達目標 (150文字程度)	就職後、貨物上屋におけるハンドリング内容知識の習得と企業研修時における内容の理解						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート					
	60%	40%					
教員実務経験	航空会社におけるグランドハンドリング部門での業務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職後の研修内容を事前に理解し、早期に一人立ちするために専門用語や職場での何故を少しでも減らすことが出来ると考えます。時には実習場にて実物を使い教育を実施するため、聞いて、見て、体験型の授業となります。						
教科書	書名	エアカーゴマニュアル		書名			
	書名			書名			
参考書	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	航空貨物について	航空貨物について理解する。
2	航空貨物ハンドリングとは	航空貨物を搭載するための積み付けから到着後の貨物の流れを理解する。
3		
4	航空貨物専門用語	航空貨物業界にて使用される専門用語を理解する。
5	輸送器材(ULD)	積み付け用の器材(ユニットロードデバイス)の取り扱いを理解、更には必要台数の算出方法を学ぶ
6	航空貨物必要書類	航空貨物運送、輸出申告、乗り継ぎ貨物に関わる書類の搬入に関わる書類を理解する。
7	航空貨物積み付け	航空貨物を積み付けるにあたっての基本を理解する。
8		
9	航空機の搭載制限	航空機各機種の搭載制限について理解する。
10	輸出入貨物の流れ	航空機で輸送される輸出入貨物の流れを理解する。
11	搭載、取降し指示書	航空機別の搭載、取降し時の指示書の内容を理解する。
12	航空郵便ハンドリング	航空機に搭載される郵便物の種類や取り扱い上の注意点を理解する。
13	航空危険物の輸送	航空機に搭載するときの危険物の取り扱い方法や注意点を理解する。
14	貨物機ハンドリング	貨物専用機のハンドリングについて理解する。
15	特殊貨物ハンドリング	超精密機械、重量物、長尺物に関するハンドリング時の表示ラベルの見方や基本搭載方法を理解する。
16	中間まとめ	航空貨物輸送におけるハンドリングに関するまとめ
17	復習	中間期までに習った航空貨物ハンドリングの内容を中心に理解度を確認。
18	タイダウン	航空機貨物室内にて必要なタイダウンについて現物を使用し施せるようにする。
19		
20	貨物容積計算方法	予約情報から積み付けをする際の貨物容積の算出方法を理解し、必要な機材、器の準備が出来るようにする
21		
22	貨物積み付け	ダミー貨物を使用し、容量計算及びULDへの積み付けを実施する。
23		
24	特殊貨物ハンドリング	積み付け貨物ラベルによる表示の見方、取り扱い時の注意点を理解し、特殊貨物(重量物や長尺物)の積み付けから航空機への搭載方法を理解する。
25		
26		
27	貨物積み付け応用編	貨物の重量分散方法及び搭載位置決定までの流れについて理解する。
28		搭載貨物の航空機内への様々な固定方法について理解する。搭載貨物のネッティング方法や固定器具の強度を理解する。
29	貨物上屋作業での安全	貨物を取り扱う上屋作業での人身事故、貨物破損事故、等の不具合を防ぐための安全作業とはを理解する。
30	総まとめ	航空貨物輸送におけるハンドリングに関するまとめ。

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分	専門科目				開講時期	1年次	前期
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース				
授業科目名	ロードコントロール I		担当教員名	吉川 勝巳			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空機の重量と重心位置管理の重要性について理解する。 ロードコントロール業務を通じて、空港業務を理解する。						
到達目標 (150文字程度)	重量と重心位置管理の算出 搭載計画とWeight&Balance Manifestの作成 ロードコントロールと空港業務との関係性の理解						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢				
	90%		10%				
教員実務経験	エアライン企業におけるロードコントロール実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	飛行機はWeight&Balanceを確認しないと飛ぶことができません。 搭乗業務を知ることで空港業務を理解しましょう。						
教科書	書名		書名				
	書名		書名				
参考書	書名		書名				
	書名		書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ロードコントロール 業務関連	航空機概要・航空法
2		ロードコントロール概要・ロードコントロール業務
3		ヒューマンファクターと安全
4	重量管理 重心位置管理	ATOWの算出・航空機重量の内訳・重量の算出
5		重量の算出・重心位置・モーメントとMAC・TRIM
6	搭載計画・ Weight&Balance Manifest 演習	Weight&Balance Manifest概要
7		Weight&Balance Manifest (B737-700)
8		ULD知識・各機種概要・搭載計画基礎・レストレイント
9		搭載計画・Weight&Balance Manifest (A320ceo)
10		搭載計画・Weight&Balance Manifest (B767-300)
11		搭載計画・Weight&Balance Manifest (B767-300ER)
12		搭載計画・Weight&Balance Manifest (B777-300)
13		搭載計画・Weight&Balance Manifestまとめ
14	ロードコントロール	空港各業務との関係
15	総復習	重量と重心位置まとめ

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目					
学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース			開講時期	1年次	後期
授業科目名	航空無線		担当教員名	竹田 啓一			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	空港内にて使用する各種無線についての理解、及び航空機けん引作業時に必要な無線技士資格取得前の事前教育及び知識の習得。						
到達目標 (150文字程度)	第2級陸上特殊無線技士資格取得						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	授業課題	取り組み姿勢			
			80%	20%			
教員実務経験	航空会社における無線使用のグランドハンドリング業務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港内での航空機けん引作業等に必須な国家資格となります。難しい内容ですが授業を通して少しでも理解を深めて講習に挑んで下さい。						
教科書	書名	教員作成資料			書名		
	書名				書名		
参考書	書名				書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	オリエンテーション	本講義全般の内容・構成及び意義・目的の説明
2	空港内無線業務	空港内で使用される無線の種類について理解する。
3		空港内で使用される無線の用途及び各セクションについて理解する。
4		フォネティックコードについて理解する。
5		
6	無線法規	無線使用に対する関係法規及び法令について理解する。
7		
8		
9	無線工学	無線工学について説明
10		
11	無線講習受講対策	過去問題演習(運用・法規)
12		過去問題演習(運用・法規)
13		過去問題演習(運用・法規)、無線講習準備
14		過去問題演習(運用・法規・工学)
15	まとめ	無線業務及び講習に関するまとめ

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分	専門科目					開講時期	1年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース					
授業科目名	品質管理		担当教員名	吉川 勝巳				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空業界および企業・自身にとっての品質は何かを考える。 品質を維持向上させていく上で、基本となる用語や問題解決に役立つ具体的手法について学ぶ。							
到達目標 (150文字程度)	学んだ手法を用い、品質管理・改善に取り組む。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢					
	80%		20%					
教員実務経験	エアライングループ会社での品質管理経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空業界に限らず必要な内容です。言葉は難しく聞こえますが、内容は難しくありません。 個人またはグループ単位で適宜ディスカッションを行います。 職種問わず、就職された後に関わる活動として、品質管理を理解して下さい。							
教科書	書名	なし			書名			
	書名				書名			
参考書	書名	品質管理検定(QC検定)4級の手引き			書名	やさしいQC七つ道具		
	書名	品質管理の演習問題 QC検定4級対応			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	パート1 品質管理とは	自身を知る、チームとは
2		品質、品質管理
3		総合的な品質(QCD、PSME)
4		改善活動、仕事の進め方(PDCA)
5		QCサークル、QC七つ道具
6		新QC7つ道具
7		QCストーリー、標準化
8		ブレインストーミング
9		なぜなぜ分析
10	パート2 5S・未然防止	企業の品質管理紹介
		工程とプロセス
		報告・連絡・相談
11		5W1H
		三現主義
		安全衛生の活動
12		5S
13		再発防止、未然防止、ヒューマンエラー
14	ヒヤリハット、危険予知(KYT)	
15	まとめ	

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目				開講時期	1年次	前期
学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース						
授業科目名	グランドハンドリング業務 I	担当教員名	田中 陽彦					
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空機の機側で行われるグランドハンドリング業務の理解、航空業界の専門用語、取扱機・器材等に関する事について学ぶ。							
到達目標 (150文字程度)	グランドハンドリング業務を行う上での基礎的な知識と安全にハンドリングするための基礎を習得する。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢					
	80%		20%					
教員実務経験	グランドハンドリング業務実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	グランドハンドリング業務を目指し、携わる者として身に付けておく知識を積極的に吸収する。							
教科書	書名	航空機のグランドハンドリング			書名			
	書名				書名			
参考書	書名				書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	グランドハンドリング	グランドハンドリング業務会社の設立経緯と発展及び現状のグランドハンドリング業務の範囲について
2	概要	グランドハンドリング業務が到着便及び出発便の中でどのような場面に関りがあるのかについて
3	業界用語基礎	航空業界で使用されているIATAコード/ICAOコード(空港コード・航空会社コード・航空機コード)の意義と重要性について
4		航空機に使用されるULDの種類とタイプ・用途およびIATA IDコード・IATAコードについて
5	航空機地上支援機材	搭降載作業にて直接航空機に関わる地上支援機材の種類と用途について
6		搭降載作業にてULD等を搬送するための器材の種類と用途及び取扱上の注意点について
7		各航空機の貨物室概要とULD搭載方法について
8	搭載・取り卸し関連知識	旅客便と貨物便の危険物輸送の相違点について
9		各航空会社の搭載計画書および取り卸し指示書の見方と記載内容について
10	搭載・取り卸し作業	指示書を基に搭載/取り卸し作業の手順と注意すべき点について
11		各機種の出発便作業/到着便作業の手順と関係する付帯作業について
12		バルク搭載/取り卸し作業時における注意点と着眼点およびロードマスター業務の概要について
13	安全知識	ランプ内において作業を行う際の安全と搭降載作業時の品質管理の考え方について
14		空港内での車両を運転する際の規則について(東京国際空港制限区域内車両安全運転教本)
15	まとめ	総括

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目		学科・コース名		開講時期	1年次	通年
エアポートサービス科		グラウンドハンドリングコース						
授業科目名	グラウンドハンドリング実習 I	担当教員名	田中 陽彦・村山 一成・竹田 啓一・田中 敏・富田 明浩					
授業形態	実習	授業時数	150	単位数	3	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	空港内におけるグラウンドハンドリング業務全般の実技及び車両機材の走行、操作における基礎知識の習得							
到達目標 (150文字程度)	車両の点検、特性を理解し、トーイングトラクターの運転から、パレットドローリ、コンテナドローリのけん引操作の取り扱いを習得する。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	実技試験	座学試験				
			90%	10%				
教員実務経験	航空会社におけるグラウンドハンドリング業務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港における機側周りで使用される本物の車両、器材を専用実習場にてより実践に近い形で習得します。							
教科書	書名	航空機のグラウンドハンドリング			書名			
	書名				書名			
参考書	書名	教員作成のグラウンドハンドリングテキスト			書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~20	トーイングトラクター (TT車)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TT車の性能諸元や特性、取り扱い上の注意点、点検方法を理解する。 <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走行前の保守点検方法を理解し、点検用紙の記入方法を学ぶ。 ・TT車特有の機能、取り扱いの基礎を理解する。(左ハンドル、連結機能の仕組み、ディーゼルエンジンの始動方法) ・GH実習場内のコースを単独にて走行が出来るようにする。 ・車両誘導方法を理解する。
21~50	パレットドローリ (PD)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型貨物を搬送に使用するパレットを移動するためのPDの諸元や特性、取り扱い上の注意点を理解する。 <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外観からブレーキ機能、タイヤチョーク、パレットストッパー、ローラーの著しい損傷がないかの点検を実施。 ・取り扱う上での注意点を理解し、操作方法を理解する。 ・PDを連結する訓練、前進時の内、外輪差や走行時の特性を理解した上での走行が出来るようにする。 ・PDを連結し、後進時のハンドル操作が思うように出来るようにする。 ・ハリアフローターへのPD装着が出来るようにする。
51~75	コンテナドローリ (CD)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手荷物や小型貨物を搬送するためのコンテナを移動するためのCDの諸元や特性、取り扱い上の注意点を理解する。(パレットドローリ座学時に同時に説明) <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外観からブレーキ機能、タイヤチョーク、コンテナストッパー、ローラーの著しい損傷がないかの点検を実施。 ・取り扱う上での注意点を理解し、操作方法を理解する。 ・CDを連結し、前進時の内輪差、外輪差、走行時の特性を理解した上での走行が出来るようにする。 ・CDを連結し、ハリアフローターへの装着が出来るようにする。

2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分	専門科目				開講時期		1年次		集中	
学科・コース名	エアポートサービス科			グランドハンドリングコース						
授業科目名	フォークリフト実習			担当教員名	日本ライン自動車学校、GH担当教員					
授業形態	実習	授業時数	40	単位数	1	選択必修区分	必修			
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	フォークリフト実習運転技能講習を受講し、(限定の付かない1t以上)フォークリフトの運転操作技術を習得し、資格取得試験に合格する。(また航空業界で活用するための基本操作をグランドハンドリング担当教員にて教育する。)									
到達目標 (150文字程度)	フォークリフトの走行、操作技術の資格(フォークリフト技能講習修了証)を習得する。									
評価方法	定期試験			その他の評価方法						
	筆記試験	レポート	資格取得							
		40%	60%							
教員実務経験	航空会社におけるグランドハンドリング業務経験教員									
学生へのメッセージ (150文字程度)	日本ライン自動車学校にてフォークリフト荷役講習を受講し、1t以上のフォークリフトを扱える資格を習得。後に学校内にてフォークリフトを運転、操作するための訓練をします。									
教科書	書名				書名					
	書名				書名					
参考書	書名	教員作成のグランドハンドリングテキスト			書名					
	書名				書名					

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1～2 (午前)	フォークリフト (座学)	【座学】日本ライン講師
		・FL車の走行に関する装置の構造及び取り扱いの方法に関する知識の習得。
3～5		・運転に必要な力学の関連知識並びに関係法令
6		・学科試験
7～20	フォークリフト (実技)	【実技】日本ライン講師
		・FL車の始業点検説明
		・空荷走行(前進、後進)
		・走行と荷役作業
		・実技試験
*講習会終了後、別日に学校内にて受講した内容の知識、技能を確認します。(校内グラハン実習講師)		